

製品名: Ki67 (1918) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13001**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,FC 1:1000-1:10000
分子量	359kDa

抗原情報

遺伝子名	MKI67
別名	MKI67; KIA; Antigen KI-67; Ki-67;
遺伝子 ID	4288.0
SwissProt ID	P46013
免疫原	ヒト Ki67 の合成ペプチド

背景

核膜の解体後、細胞質内に分散した個々の有糸分裂染色体を維持するために必要である (PubMed:27362226)。有糸分裂染色体の表面、すなわち染色体周囲層に結合し、染色体表面の大部分を覆う (PubMed:27362226)。核膜の解体後、細胞質内に分散した個々の有糸分裂染色体を維持するために必要である (PubMed:27362226)。有糸分裂染色体の表面、すなわち染色体周囲層に結合し、染色体表面の大部分を覆う (PubMed:27362226)。立体的かつ静電的な電荷障壁を形成することで、染色体が単一のクロマチン塊に崩壊するのを防ぐ。このタンパク質は高い正味電荷を持ち、界面活性剤として作用して染色体を分散させ、染色体の独立した運動を可能にする (PubMed:27362226)。DNA に結合し、スーパーコイル DNA および AT リッチ DNA を優先的に結合させる (PubMed:10878551)。有糸分裂染色体の内部構造には寄与しない (類似性による)。クロマチン組織化に役割を果たす可能性がある (PubMed:24867636)。しかし、クロマチン組織化に直接的な役割を果たしているのか、それとも有糸分裂染色体の分散を維持する機能の間接的な結果なのかは不明である (可能性が高い)。

研究分野

細胞生物学

画像データ

Ramos 細胞溶解物中の Ki67 発現のウェスタン ブロット分析。

